

交野市教委ニュース

第55号 (平成29年2月16日発行)

グローバル・コミュニケーション

「交野市教育大綱」では、これから必要な力として、「多様な文化と関わる中で、単なる外国語力（英語力）の養成だけではなく、異なる価値観を持つ人たちの中で、意見の違いを統合してみんなの知力の質を高める能力（グローバル・コミュニケーション能力）の習得が求められます」と掲げています。

教育委員会では、平成28年度から「グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業」を開始しました。現在、第三中学校区をモデル校区に指定し研究を進めています。先日、妙見坂小学校で、公開授業がありました。

また、この事業とは別に、プロの落語家の方をお招きし「英語落語」で古典と英語、ともに親しめる取組みをしている小学校も数校あります。

2月14日（火）妙見坂小学校の6年生で公開授業がありました。

総合的な学習の時間で作成した職業に関するフォトシートを使い、将来の職業に関する交流を中心に授業が進められました。

What do you want to be? I want to be a ~.

Do you like(have)~? What's this? Really? Me, too. Good. などたくさんの表現で会話をしました。



今日の授業の目標を確認、ALTとの発音練習（doctor, vet, cook, soccer player・・・）、ペアでのコミュニケーション活動など、担任の先生が主導しながらALTとテンポよく授業が進められました。児童も楽しそうに活動していました。

2月9日（木）プロの落語家の方を招き、交野小学校で英語落語がありました。



英語落語の鑑賞だけではなく、うどんを食べる仕草や実際の英語落語の一場面を演じる体験など、児童も古典に触れる機会がありました。そして、最後に、南京玉すだれ。先生は苦戦していましたが、最後は、先生も児童も大成功でした。

児童は、これからも、ますます外国語・英語、そしてさまざまな文化に興味を持って学習に取り組んでくれることでしょう。